広報

いまかわ



あけまして
おめでとう
ございます

Happy
New Year

1

1992
No.396

今金保育所もちつき

新年を迎えて



今金町長
村本光夫

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を皆さまとともに迎えることができましたことを心からお慶び申し上げますと同時に、平素からの町政に対するご理解とご支援に対し、深く感謝申し上げます。

わが国を取り巻く諸情勢は、高齢化社会の進行、コメ自由化問題、中東紛争を契機に国際貢献問題など多難な時代に突入いたしました。

一方、国の財務事情は国債費が歳出予算の二割を占め、金融、証券不祥事に端を発したバブル経済の崩壊などが加わり、経済動向も減速状況から失速への心配がされておりますが、今後も急速に進展するであろう高齢化、出生率の低下による生産年齢層の減少や、国際社会における我が国の責任の増大など、今後の社会情勢の変化に財政が弾力的に対応していくことが求められています。

地方自治体におきましても、国と同様に厳しい状況にありながらも、住民の幸せを高める施策を、中長期展望に立って、平成三年度からスタートした今金町新総合計画の実現を目指して努力しなければなりません。

このような国内外の厳しい状勢の中にあって、花石小学校改築事業をはじめ、美利河スキー場休憩所新築工事、種川構造改善センター新築工事、今金総合公園造成設備工事、同管理棟新築工事、南団地公営住宅建設工事、流雪溝事業として旭幸線凍雪防止工事が本年度からスタートするなど、主要施策が計画どおり進めることができましたことは、町議会をはじめ町民各位の力強いご支援の賜ものと深く感謝を申し上げます。

本町の基幹産業であります農作物につきましては、七月中旬までは天候に恵まれ、おおいに期待を持ったところでありますが、七月中旬以降の曇雨天と更に低温が加わり、主要作物で一番被害の大きいコメでは出荷率六十七%でありました。これ以外の作目は総じて平年作の結果でありましたことは、各農業者の日頃のたゆまない努力にあると感謝するとともに、引き続き生産の向上にまい進していただきたいと念願いたします。

今後におきましては、厳しい町財政下ではありますが、行財政改革を強力に推進し、財政の健全化に努めながら、町民の期待に添う街づくりを目指し、より一層の精進を重ねて参る所存であります。

建設的な意見・提言を期待

豊かで住みよい町づくりは、町民一人ひとりがのぞんでいることでしょう。日常生活に欠かせない道路の整備や福祉の向上などは町政と密着していることはもちろんですそういう意味であらゆる行政施策が行われなければなりません。

小さな問題から大きな問題、そして夢を、皆さんお待ちでしょう。そういう声を聴くのが町政懇談会です。

町民生活が複雑多様化、要求も多くなってきた現在、町政運営は厳しい財政状況下の中で努力しています。皆さんの意見や要望が全て満たされるとは限りませんが、町では住民生活の実態を把握し、現状を共通理解して、住みよい町づくりをめざしています。

町民の方々の建設的な意見を期待しております。明るく住みよい町づくりのため、一月下旬に開催予定の町政懇談会には、町民こぞって積極的に参加いたしましょう。



町政懇談会に
積極的に参加しましょう



初春の舞

平成四年の新春を迎えるにあたり、町民の皆さまのご多幸とご繁栄を心からご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

先人に学ぶ

少年要次郎 この地に虹を見る

皆さん、毎日の生活の中で大きな夢や理想を持ち、それに向かって活動をしているでしょうか。

ことしは、北海道に理想郷をつくろうと、大きな夢を抱き、若干十七歳の少年丸山要次郎氏が兵庫県丹波の国から同志、志方之善等と当町に入植してから百一年目に当たります。

進取の人、丸山要次郎氏は未開の荒野を明治、大正、昭和と激動する三時代にわたり信仰と開墾、そして勉学にたくましく生き抜き、七十三歳の生涯を終えました。

今月号では、惰性の中で何となく過ごしがちな一人として、先人に大いに学びたいと思い、同氏をとりあげてみました。



明治24年５月神丘に少年丸山要次郎が入植。
これが神丘の発祥と云われ、同記念に石碑が建立され、上記の詩が刻まれ、要次郎の生涯にもっともふさわしい詩と、町内外から云われています。



丸山要次郎作
大黒さまとねずみ

いま、丸山家に残された唯一の彫刻品です。高村光雲に師事しただけにその技術の高さがうかがえます。

寸法
8×8×7センチ

丸山要次郎氏略歴

（明治７年８月兵庫県氷上郡柏原町生まれ）

北海道にキリスト教徒の一大新天地を建設する目的をもって、明治24年４月21日志方之善、丸山要次郎（17歳）の二人東京を出発。５月３日、利別の中焼野（神丘）に到着、開墾に入った。一旦帰京のうえ、大工を伴って利別に帰着単身越冬をした。このとき生活糧にと修業中の彫刻を瀬棚で販売、困苦に耐えた話しは有名である。（当時、高村光雲門下で修業中の身であった）

のち、後続の同志に北国の厳しい冬に対する生き方を伝える。また、子弟の教育にも力を入れ、明治28年寺子屋式教育場を設ける。

その後、父に開墾の業を任せ、明治32年より大正３年まで、南洋群島、印度、アフリカ、英国、独国、仏国を周遊、帰国後美術工芸と応用科学の面に力を尽し、昭和21年享年73歳で歿す。（今金町史から）

高村　光雲氏　（1852～1934年）

明治時代に活躍した彫刻家。代表作に楠公銅像、西郷隆盛像がある。東京美術学校（現東京芸術大学）教授を勤める。明治の木彫界の元老として重きをなす存在であった。愛の詩集「智恵子抄」、彫刻「十和田湖記念像」をつくった、高村光太郎氏は息子。

要次郎から父正高にあてた文

（原文のまま）（明）二十五年晩秋と推定

……此ノ河ニ居ル魚ハ鮭、鱒、ウゴイ、アメノ魚、八目ウナギ・ヤモメ等ナリ而シテ〇大河上古神代ノ頃ヨリ入ル人ナケレバ大木河ニ横テ充満シタルニ依リテ木ヲ伐リ或ハ下ノ下ヨコグリ或ハ舟〇通リテ人ハ木ヲ越ヘルニ及ハズ草原ニシロ林ニシロ野ニシテモ草木充満シテ開地〇如何ナル草モ肥エ太リテ内地ニ且ツテ見ザル者ナリニテ焼野ノ〇落於テ開墾セント欲スル所ニ付テ記サン（之ヲ記サバ他ハ皆同ジ）分地ヲ余サズ大草重リ重リテ一面ニ草々相茂リ高サ五・六尺ヨリ七・八尺ニ達シ人々其内ナド実ニ快楽ナリシ」而シテ此ノ河ノ中ニハ、カラス貝ノ如キ者大ナル貝水底ニ充満シテ眞黒タリ以テ多キ事ヲ思フベシ」陸モ又神代ノ頃ヨリ人ノスリシ事無キ所ナレバ樹林地ト称スルニハ大木繁茂シテ人◎通行スル事能ハズ草原ニシロ林ニシロ野ニシテモ草木充満シテ開地〇如何ナル草モ肥エ太リテ内地ニ且ツテ見ザル者ナリニテ焼野ノ〇落於テ開墾セント欲スル所ニ付テ記サン（之ヲ記サバ他ハ皆同ジ）分地ヲ余サズ大草重リ重リテ一面ニ草々相茂リ高サ五・六尺ヨリ七・八尺ニ達シ人々其内ニ入レバ他ヲ見ル事能ハズ人ノ入ルニ草々ヲ押シ分ケマタギ通ズ犬ノ如キ者ハ通行スル能ハズ人ノ通セル後ハルカ後ニ通ズ可シ如何トナレバ草ヲマタグ事能ハズ依テクグルナリクグル可ク充満スルヲ以テ其間ヲ犬ガ通セザル候（小路タリトユエドモ少シモ無シ）（此地ハ草原ナリ）彼〇〇ニ大木アリ草ハ地竹（即チ細キ竹）及他ノ存ル草ヲ以テ充ツ」草木供内地異変セリ松・竹・杉・檜ハ見ント欲スレドモ能ハザル候、楓多ク有レドモ内地ト異ナリ自然生ニシテ効能アル者ハ樹木第一葡萄（〇〇ニ於テ多クアレド木ガ大ナリ依ッテ内地ノ葡萄ト異ナリ）桑（自然桑ト称スルニシテ実ニ大木ニシテ繁栄セリ）シコロ・クルミ……イチゴ……其他種々第一、カバ、エリマキ、アメマタ、ヤチダマ等ハ如何ナル大木ナルモ取リテ直チニ薪トナス可シ此等ノ品内地ノ且ツテ見ザル所ナル可シ、エマキハ黄楊ノ如シ其他〇〇草木ハ第一フキ、ゴボヌ、ワラビ、ウド、ダラノ木、シイタケ、タケノコ……今年ハ総デ、土地耕スナリ、名々ニ土地ヲ得る(ハ)来春ノ始ナリ、一家ニ於テ不自由ナク暮ス可キ土地ハ五・六町ア

次頁へ続く

レバ十分ナレド私土地得ル十町ナレバ六町ハ耕作ニ供シテ、四町ハ二町ヅツ、一ニハ葡萄園トシテ葡萄ヲ植ヘ一ツハ桑木トシ供々他日事業ノ用ニ供ス、……而シテ十五町ニシテモ二十町ニテモ土地ヲ得ルハ自由ナリ耕スル事ヲ得レバ馬鈴薯ハ一反ニ三千斤を得ル夫レラヲ以テ製粉ヲ製ス可シ其ノクヅヲ以ッテ鶏豚ヲ畜フ可シ、玉葱ハ一反三十円程ヲ得可レド、ナニバキビハ二石小豆大豆ハ一石四斗程得ベシト其他何ニテモ作ル可シ内地ト異ナル事ハ返リテ好ク出来候肥ヲ用ヒズシテモ好ク出来候。父母両君此地ニ来リ給フヤ、土地ハ寒ク供法ヲ得テ暖ト〇〇家ハ西洋風ニ作リテストーブヲ燵ク可シ、当地ハ物價高シ機麻一反一円二十銭一人ニテ土地ヲ開ク一日ニ一畝以上ヲ得ベシ明年ニ於テ十分食料且農具ヲ調フ可シ明後年春皆々様ノ引移リヲ願フ其節ハ道具売拂テモ夜具類衣類銃刀等ハ持参シ給ヘ衣ハ服和ハ筒袖タリナルベク木綿、コクラヲ以テ洋服ノ如クスルガ便利〇〇ナル可ク強キ者ナル可シ即チシャット、パッチヲ男子〇〇ノ善キナリ而シテ脚半、ワラジ〇〇極メテ強ク十分ニ仕立テ、御持参アル可シ其ノ節小子ノモ仕立テ御持願ヒ下度、和服ハ一枚モ入リマセン然レドモ、シャッパッチ及ビ之ヲ洋服ノ如クナセシト供ニ持参下サレ度、父君ハナル可ク明年来リ給ハ、都合宣シ如何ニ候ヤ、身体健康ニシテ長命ス可シ……

※当時の今金の様子や生活ぶりがよく分かる貴重な資料として紹介しました。

達筆であった行忠氏の移住日誌の一部



故要次郎氏の精神 孫たちにも…

四男博氏（昭和六十年歿）が、要次郎氏の跡を継ぎ、現在、敦子夫人と同長男高一氏が同地で農業を営んでいます。

・丸山高一氏(31)　長男、地元の高校を卒業して農業従事、明治二十四年の開拓以来百年間続く土地を守っています。

・丸山修二氏(28)　次男、山形大学理学部化学科を卒業。要次郎氏が学んだ化学を勉強して、現在、札幌の㈱ほくさんの新製品開発本部研究室に勤務。

・丸山正三氏(20)　三男、東京のルーテル神学大学に在学中（現在二回生）、同大で神学を学びながら「自分だけのために生きたくない」と、将来は福祉関係の仕事に就きたい希望を持ち、勉学に励んでいる。

明治四十年十二月要次郎の祖父行忠氏永眠

士族であった行忠氏は九十六歳で歿し、筆マメ、達筆で知られ、資料も多く残されています。

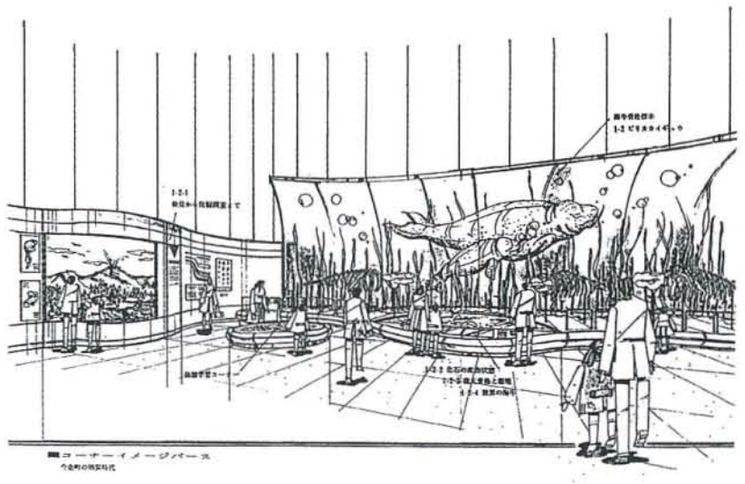
同氏の香典帳の中には、瀬棚の志方吟子氏（日本の女医第一号）から魚三種、百七十匹と記され、また兄伝太郎氏はタイレンから拾円の香典（平均十銭、二十銭）が送られ、当時の同氏の活躍ぶりが推測されます。

今金町博物館 建設構想が答申される

平成二年十月十七日付けで町長から諮問のあった今金町博物館建設構想について十二月十三日、建設構想委員会井村毅委員長から村本町長に答申されました。

答申書作成にあたっては、四回の視察研修、七回にわたる委員会を開催、熱心な審議がなされてまとめられたものです。

内容は、博物館建設に併せて美利河の遺跡の保存整備、活用を盛り込んだもので、これからの生涯学習における博物館の役割と機能、事業と活動、施設、規模などを構想したものです。これを受け、町では財政の事情、他の事業との調整を図りながら前向きに建設を進めたいとしています。



わたしたち申年生まれです

年男・年女のことしの抱負

今年は申年です。申年に生まれた方に登場していただき今年の抱負などを一言聞いてみました。
下は12歳から上は72歳までの方々です。

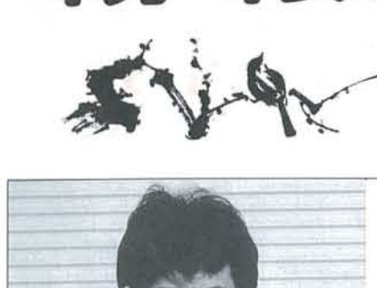


▲苅屋　孝志さん　昭和31年生
南豊受　建具師

昭和四十五年から二十一年間勤めた、内ヶ島製作所を昨年三月いっぱいで円満退社しました。

多くの人に応援してもらい今は、大工さんの友人と二人で自営しています。お互いのカミさんが応援し合い、四人で賑やかに楽しく仕事をしています。

苦労して身につけた技術と経験を生かし、立派な家づくりに役立ちたいです。私を応援してくれる家族や友人たちのためにも、絶対に良い年にしたいと思います。



▲飯田　静枝さん　大正９年生
本町　商業

十六歳で奉公に出、店に出るようになってから五十年がたちました。私共の商売も戦前の呉服店から現在は洋品店と言われるようになり、取扱う品物も随分と様変わりしました。

昔は出張員が来て、仕入れを決めましたが、今は、私が月に二回、札幌へ行って現物を見て、流行や私共の店のお客さんに合った品物を仕入れてきます。働くことしか趣味がない私、大型店にはないサービスと真心でお客さまのお役に立ちたいと思います。今年も孫たちの成長が何よりの楽しみです。

▼大貫　有希さん　昭和43年生
東町　エレクトーン講師

四歳からエレクトーンを習いはじめ、先生になるのが小さいときからの夢でした。昨年一月にヤマハのエレクトーン講師の検定に合格、夢がかない五月から講師を務めています。

子供が大好き、そして好きなエレクトーンの仕事に携われる毎日が充実して楽しいです。生徒には分かりやすく、楽しくできるよう心掛け、良い年にしたいと思います。



▼渋谷　正三さん　昭和７年生
栄町　営林署勤務

私は稚内市、家内は北桧山町丹羽出身で、来年の営林署退官を控え、何処に落着くか思案しました。結局、今金に来てから十二年、知り合いも多く、人情味があって住みやすく、街並みが充実している今金に永住を決め、昨年十二月に町内栄町に家を新築しました。

家内ともども、今金町のために少しでもお役に立ちたいと考えています。今年は私のえとなのできっと良い年になるでしょう。





▲八束小学校５、６年生のみなさんです。
昭和55年生申年でない人もいます。

（６年生）

八束小学校には楽しい思い出がいっぱいあります。

中学校へ行ったら統合中なので、新しい友達をいっぱいつくり、勉強とスポーツに頑張りたいと思います。

（５年生）

上級生らしく下級生の模範になりたいです。



▲杉山智枝子さん　昭和19年生
昭和町　商業

結婚と同時に今金に来て、二人でトラックいっぱいに野菜、果物を積んで商売をはじめてから、早いもので二十七年目になります。お陰様で三男一女の子宝に恵まれました。健康だからやってこれたと感謝しています。

今は、子供たちが各々の道に進んだので、二人の老後を楽しく豊かにしたいと考え、仕事に頑張っています。

今年も安くて新鮮な品物を売り、皆さんから喜ばれる良い年にしたいと思います。

永年勤続優良従業員表彰

今金町商工会

町商工会は、永年勤続優良従業員の表彰式を十一月二十三日（勤労感謝の日）町民センターで多数来賓の出席のもと、開催しました。

今回、表彰されたのは勤続三年から三十年までの勤続者三十四名です。

式では、商工会長から一人ひとりに表彰状と記念品が贈られました。受賞者を代表して秋田正夫さんが「これからも企業の発展のため尽力します…」と謝辞を述べていました。

引き続き行われた祝賀会では、長い間の苦労話しや思い出を語り合い、受賞の喜びをかみしめていました。

十五年以上の被表彰者は次のとおり

▽十五年以上　水野紀子さん、日下怜子さん、菅野広さん、岩井信子さん、宮崎真知子さん、西部悦子さん、苅屋昭三さん　▽二十年以上　杉村栄子さん、和田道子さん、村瀬正信さん、川村キヨミさん、阿部昭一さん、白岩五郎さん　▽二十五年以上　桜井朗一さん　▽三十年以上　秋田正夫さん



一人ひとりに表状と記念品が手渡されました

小・中学生美術書道展表彰式

平成3年度

平成三年度小・中学生の美術書道展は、町内各小・中学校から美術の部、小学生124点、中学生34点、書道の部、小学生117点、中学生30点、計305点の応募がありました。審査の結果、十一月二十日に表彰式が役場会議室で行われ、十六人の入賞者に各々賞状と記念品が贈られました。


おめでとう！よく頑張りましたね

▽**美術の部**
町長賞　柏田順也（種川小一年）議会議長賞　原いずみ（今金中三年）議会議長賞　藤倉雅口奈保子（種川小五年）馬場絵里（今金中一年）教育委員長賞　伊藤利美（今金中三年）俊（種川小一年）伊藤真由美（今金小三年）教育長賞　百成百合子（今金中三年）加藤香澄（今金中三年）

▽**書道の部**
町長賞　伊藤真由美（種川小六年）磯辺真理子（今金中三年）議会議長賞　垣本香里（八束小二年）浜田千穂子（今金中三年）教育委員長賞　長崎美香（種川小五年）鈴木孝昌（今金中二年）教育長賞　黒須稔（今金小四年）大谷佳子（今金中一年）

第十七回光の里学園祭
笑いと感動ふれ合いの学園祭

第十七回光の里学園祭が十一月二十四日、同学園横の地域交流ホーム「ひかりのさと」で開催されました。

当日は、あいにくの吹雪模様になりましたが、遠くから駆けつけた父母や地域の人たち及び親子連れなどで広い会場はいっぱいでした。

学園祭は、正義が強いことを教えてくれた舞踊劇「アラジンとまほうのランプ」今年度、町文化祭においても文化賞に輝やいた「今金ひかり太鼓」など八種の演目に、練習を重ねた成果を、舞台いっぱいに披露していました。

会場内では、久しぶりに会う親子が、持ち寄った弁当やおやつを食べるなど、ふれ合いがあちこちで見受けられました。

また、今回もたくさんの友情出演がありました。神丘地区開基百年を記念して誕生した「神丘黎明太鼓」をはじめ、影絵同好会つぶっぺの影絵、今金舞踊愛好会の踊り、箱舟の人形劇、狩場太鼓、近隣の小倉山婦人会による踊りなどが、次々と披露されていました。

今年も、笑いと感動、そしてふれ合いと友情の思い出に残る学園祭になったようです。


アラジンとまほうのランプのラストシーン

婦人部員ら三百人が参加
第三十一回農村婦人文化祭
多彩な展示や演芸に沸く!!

第三十一回農村婦人文化祭が十一月二十九日、町民センターに婦人部員ら約三百人が参加して賑やかに開催されました。

文化祭は、会場ホールに手作りのケーキが飾られ、また忙しい農作業の合い間に作られた、ドライフラワー、ちぎり絵、編物、陶器など、手の込んだ立派な作品が展示され、訪れた人の目を楽しませていました。

大会では、阪井部長のあいさつ、研修報告、一日皆貯金抽選会が行われていました。

午後からは、演芸大会で各地区の代表が趣向を凝らした十四種の唄や踊りコントを舞台いっぱいに披露して、笑いとたくさんの拍手を浴び、おひねりが飛んでいました。中にはミカンやおかし、おまけにそれを入れる袋まで投げられ爆笑をかっていました。中でも神丘の若妻のとんがり体操では、パジャマ姿でパンツを脱いで寝よう！のソングで賑やかに踊り、会場にパンツを投げるなど会場を沸かせていました。

また、豊田若妻会の「ひだりまき学園」では、アドリブでコントを演じ、大いに盛り上げるなど、楽しい一日を過ごしていました。



アドリブでギャグを連発、会場を大いに盛り上げていました（豊田若妻会の「ひだりまき学園」）

親子で楽しくおにぎり作りに挑戦

今金幼稚園

コメをたくさん食べてもらい、将来の安定消費拡大につなげようと十二月十一日、桧山支庁と桧山地方米消費拡大推進協議会の「母と子のおにぎり教室」が町立幼稚園で開かれました。

当日は、オコメマンの縫いぐるみが登場、楽しい雰囲気を盛り上げ、紙芝居でお米ができるまでを分かりやすく園児に説明していました。

このあと、用意した地元産の「きらら397」を使って、頭にハンカチーフ、エプロン姿の十八名の年長児が、おにぎり作りにお母さんと挑戦しました。

梅干しやサケフレーク、シソゴマの入ったおにぎりを可愛い小さな手でラップに包みながら仕上げていました。

昼食に自分たちで作ったおにぎりをお母さんと一緒に食べ、満足そうでした。


可愛い小さな手で握っていました

不用品を集め賑やかに歳末助け合いバザー

今金小児童会

今金小児童会では、歳末助け合い運動の一環として、恒例になっているバザーを十二月十三日午後から同校体育館で行いました。

この行事は、子供たちが各家庭で不用になった品物を持ち寄り、各学級ごとに出店を出して購買活動をしたり、また児童各自が百五十円以下の現金を持参して、一品につき三十円以下の買い物を楽しむものです。今年はパチンコのゲーム機や腕相撲、ジャンケンゲームなどのユニークな試みも見られました。

バザーは、子供たちの声をからしての激しい売り込み合戦、目を輝かせてのゲームや買い物に、他の行事とは一味違う生き生きした活動が見られました。収益金三万七千円は社会福祉協議会へ全額寄付されました。


激しい売り込み合戦を展開していました

WELCOME
ようこそ



今村宅で日本の伝統茶道をならう



クリスマスコンサートに特別出演してサイレントナイト・ソーラン節等を披露。大きな大きな拍手を浴びていました。



今金中学校では小人数ごとに分かれて各学級に入り、大歓迎を受け、会話とゲームを楽しみました



目かくしをして福笑い。変な顔になったようです。



歓迎レセプションで、和太鼓を叩き喜ぶ生徒たち



12月8日の大平さん(花石)の結婚式で巫子を務めるロビンさんとドンナさん

BUNSID HIGH SCHOOL



着物姿で
お別れのことばを述べる
マダリンさんとレチュールさん
立派なあいさつに感激のOKさん？

TO IMAKANE
今金へ

BUNSID HIGH SCHOOL

十二月一日から十五日間、ニュージーランドのバーンサイド高校から日本語を専攻する高校生二十名と引卒の教員二名がホームステイー。今金中学校や地域、団体との交流を通して、お互いに友好と国際理解を深め合っていました。

また、来たときは片言の日本語もお別れパーティーのあいさつでは「この二週間で、渡辺さんの英語が上手になった」とジョークが云えるように、ある家では他人が来ると吠える犬が吠えなかった、犬も国際交流に一役買ったおまけまでついて、いつまでも思い出に残る国際交流になったようです。



婦人会と膝を交えてトーク。口より手を多く使っていたようです



みんなの注目を集め、そばづくりに挑戦するジョナサンくん



渡辺さんに英語を教えたダンカンくんとマシューくん？お返しにハムづくりをならう？



函館でショッピングを楽しむ

子供に大人気のセーラさん





結婚写真撮りを見て、きれいだねえ！を連発していました



陶器づくりに挑戦！

高橋政子さん北海道の婦人代表として
北方領土相互理解促進対話交流に参加

北方領土相互理解促進対話交流使節団（団長横路知事）の一員として、北海道婦人団体連絡協議会副会長の高橋政子さんが十一月十七日から同二十四日までの八日間、訪ソして来ました。十二月七日開催された今金町婦人研修会において、ソ連での視察や会談を通じて感じたことを次のように述べていました。

○街のようす

モスクワは、十七・八世紀の古い建物が多く、コンクリートむき出しで灰色の建物ばかりが目につく。壁は剝がれ、壊れ、うす汚れ、みすぼらしいなど、暗く、活気がない。道路は埃や泥できたない。また車は古く、新聞やガムテープを貼っていたり泥だらけで近寄れない感じ。パンを買うのにも、テレビで見たように長い行列をつくっている。しかし、レニグラードは、街も明るくきれいでした。

食事は、一流ホテルでも粗末です。朝食は小さな黒パン、白パン各一つとゆで玉子一つに小さな薄切りのハム二切れ。牛乳は無くコーヒか紅茶がついてくる。昼食はこれに小さくて固い牛肉にフライドポテトとゆでたニンジン少々です。夕食はところによってスープが増えるだけです。経済がひっ迫している印象を強く受けました。

レニグラードは、食事の質・量ともモスクワに比べ良かった。

○会談を通じて感じたこと

(1)ソ連は二・三年前までは「領土問題は存在しない」と言っていたが、北方領土に関する使節団を入国させ、各界と自由に討議する機会を作るなど変化してきている。

(2)政府高官などと幅広く会談、毎日対話の相手は変わるが、彼等の言うことはほとんど全く同じだった。「対日関係は法と正義によって解決すべきだ。平和条約については、エリツェンの言う五段階方式を支援する。その促進のためには、まず日本側がソ連に援助をして欲しい。ソ連には北方領土返還反対運動があるが、その勢力を押えるために日本の友好的態度（経済援助）が必要だ」のくり返しである。

(3)目下の最大の障害は、保守派の巻き返しである。対話を重ねることによってお互いの誤解を解くことが大事である。

(4)来年、初夏の頃と予定されるエリツェン大統領の訪日までが大きな山場となろう。日本にとって国民の一貫した態度が最も重要な時期を迎えているわけである。お互いに心して返還問題に取り組まなければなりません。

※北方領土に対する正しい知識を身につけることと、ますます世論を盛り上げて、領土返還運動につなげて行くことが私たちの強い役目と感じてきました。」と最後を結んでいました。


赤の広場で、矢地町村会会長（清水町長）大矢根室市長と記念写真

千葉県で農産物フェア
今金男しゃく・軟白長ネギなどPR

大消費地で「クリーン今金町」の農産物をP・Rし、販路、消費の拡大を図ろうーと、今金町農産物フェアが十一月三十日、十二月一日の両日、千葉県市川市のスーパーフレック中山店と本八幡店で行われました。

ガイドポスト地域実践事業、うまい米づくり推進事業の一環として開催したもので、道外では初の試み。日本一の折紙がつく「今金男しゃく」をはじめ、今金特産の軟白長ネギ、玉ネギ、ニンニクなどが市価の半値ほどあって朝から行列ができるほどの人気で、販売にたずさわった生産者代表や農協職員も汗だくの対応ぶり。試食コーナーでは、男しゃくの塩煮、軟白長ネギのサラダに「おいしい、おいしい」を連発していました。

お買い上げ者サービスとして用意した、今金産「きらら397」の新米三千パック（一パック三百㌘）もほとんどなくなり、また中に入れた食味や光沢についてのアンケート調査を、今後の米づくりに生かしていくことにしています。

スーパーフレックは、十二店舗を有する千葉県最大の大手で食糧品だけで年商二百億円。今金の男しゃく、軟白長ネギが目玉商品として扱われています。直接消費者と交流、対話した生産者も、自分たちの生産物が大都市の人たちに喜ばれていることを実感し、大いに自信を深めていました。


人気を呼び開店前から長蛇の列でした

みんなの広場

交通安全えき伝マラソン

美利河小三年　津田　愛子さん



九月二十四㈫に、交通安全えき伝マラソンがありました。ほんとうは、九月十九日だったけど、雨でえんきになりました。

この日はいいお天気で、わたしはえき伝が楽しみだったので、とってもうれしかったです。

マラソンをやる前に、四ツ葉学校を代表して、青山商店の前でわたしが決意表明を読みました。

このマラソンは、四ツ葉の全員、二十六人で今金までの二十九㌔走りました。わたしは一番はじめに一㌔走りました。そして次の人にタッチしました。走り終わってバスにのったら、みんながはくしゅでむかえてくれました。とってもうれしかったです。今金までのと中、中里と農協スタンド前で、けいさつの人が「事こが多いので気をつけましょう」という話をしてくれました。その話を聞いてわたしは、たくさんの人が亡くなって、かわいそうだなあと思いました。町長さんは「よくがんばったねえ」とほめてくれました。わたしはうれしかったです。

お昼ごはんは由浅食堂で、かつどんを食べました。

そのほかに、けいさつの人が「事こが多いので気をつけましょう」という話をしてくれました。その話を聞いてわたしは、たくさんの人が亡くなって、かわいそうだなあと思いました。町長さんは「よくがんばったねえ」とほめてくれました。わたしはうれしかったです。

お昼ごはんは由浅食堂で、かつどんを食べました。

お昼を食べ終わって美利河に帰ると中、花石のカーブのところで、トラックがひっくりかえっていました。わたしはそれを見て、今日せっかく走ったのになぁと、とってもざんねんでした。みんながちゃんと、交通安全に気をつけてくれたらいいのになぁと思いました。

頑張ります ①

「厳しさ」を飛躍するチャンスにしたい



旭町　小川　宏さん(37)

昨年五月から商工青年部長になりました。部員の皆さんに助けられながら頑張っています。私たち商工者を取り巻く環境は、隣町八雲町に三店、今金にも一店の大型店の進出が予定されるなど、大変厳しいものがあります。いろいろな面で厳しい時代になりますが、逆に大きく飛躍するチャンスでもあると思っています。

この変革期に、我々若い世代が真剣に今金の将来を考え議論し、行動して行かねばならないと考えます。自分たちの子供が将来「今金に住みたい」と言ってくれるような、明るく活気のある今金町にするため、頑張りたいと思います。

俳句

冬ぎれや子地蔵揃ひの赤き帽　伊藤　翠女
一職を全うしたり寒卵　芳賀あきえ
クリスマス夫に届きし千羽鶴　石井智恵子
返り花いつより付きし屈みくせ　斉藤　みち
足止めし芭蕉自筆や文化の日　佐藤　朝子
なんとなく無の軸掛けて年迎う　藤田喜枝子
賽の目の手を弾け行き年新た　辻　知子

利別俳句会

うが家のアイドル

▶山本雄貴くん

（平成２年７月27日生まれ）
八束宮の下山本智明さん恵美子さんの２男
【親から】
好奇心旺盛、食欲旺盛、お兄ちゃん大ーい好き。いつもお兄ちゃんのあとを追いかけていっては、元気に遊んでいる、わんぱく坊主です。
おおらかで元気に育ってほしいと願っています。



◀安達咲輝ちゃん

（平成２年５月７日生まれ）
種川宮前　安達栄一さん、佳久子さんの長女
【親から】
大きなお兄ちゃんと対等で、お口も達者なおしゃまな子です。にこにこぶんが大好きでお仕事？いろいろお手伝い。囲りの方々にも可愛がられ、幸福な咲ちゃん、みなさんこれからもよろしくね。



お知らせ



〝ある日のあなた〟写真をさしあげます

年末年始の公衆浴場の営業について

年末年始の公衆浴場の営業は次のとおりとなりますのでよろしくお願いします。

記

▽老人福祉センター浴場
12月31日　13時～19時まで営業
1月1日から3日まで休業
1月4日から平常営業

▽種川温泉休憩所
12月31日　9時～17時まで営業
1月1日から3日まで休業
1月4日から平常営業

〈町民福祉課衛生係〉

1月10日は「一一〇番の日」です

皆さんに一一〇番を正しく、積極的に利用していただくため、毎年一月一〇日を「一一〇番の日」と定めております。

利用するときは、次の六つのポイントに注意してかけましょう。

★何があったか？
★どこで？
★いつ
★犯人は
★今どのようになっているか？
★あなたは？

◎また、次のことに注意しましょう。

★一一〇番は「早さが命」です。事件事故にあったときは、まず先に「一一〇番」しましょう。

★一一〇番は、通報と同時に出動を指令します。あわてずに警察官の質問に答えてください。

★一一〇番の「いたずら電話」はみんなが迷惑するのでやめましょう。

《北桧山警察署》

老人医療の自己負担金が変わります

平成4年1月から老人の方が医療機関で受診された時は、その窓口で支払う一部負担金が、下記のように段階的に変わります。

	外来（1ヶ月につき）	入院（1日につき）
平成3年12月31日まで（現行）	800円	400円
平成4年1月1日から平成5年3月31日まで	900円	600円
平成5年4月1日から平成7年3月31日まで	1，000円	700円
平成7年4月1日以降	消費者物価の変動率にスライドして改定となります。	消費者物価の変動率にスライドして改定となります。

原色日本の美術（全三十巻）を寄贈



十一月いっぱいで、北檜山町に引越すことになった鈴木秀男さん（大和町72歳）から、長い間今金町にお世話になったお礼にと、原色日本の美術（27×4×37㌢）全三十巻が、町民センター図書室に寄贈がありました。厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会だより

3．12．8

※光の里学園、豊寿園、社会福祉協議会への多額のご寄附ありがとうございました。（敬称略）

〈札幌市〉
宮崎和男　片岡洋三
〈苫小牧市〉
高橋寅吉
〈函館市〉
竹岸次　石竹次川　佐松次藤
〈室蘭市〉
伊藤橋
〈ニセコ町〉
柳田
〈森町〉
金丸
〈長万部町〉
金高沢
〈知内町〉
石津
〈七飯町〉
楢山
〈八雲町〉
佐橋
近中藤川
〈江差町〉
福下島岡
〈上ノ国町〉
柳原
〈厚沢部町〉
北島
〈大成町〉
田島野
大高橋
〈瀬棚町〉
辻入
鶴本
坂

高木雅彦　森田良治　織田信芳　両坂清一　小倉山人　北熊栄ヤ
〈北桧山町〉
小西豆腐店　豊鈴木末太　佐宮戸伊藤勝忠　伊塚伊藤米信　田亮松山義善栄キヌ　三田津井井下口橋中義　今金町青年団体連絡協議会　北海道銀行今金支店　今金町商工会　今金町女性団体連絡協議会　今金町社会福祉協議会　今金町国保病院看護婦一同　今金郵便局
三上輝彦　三上寿美果　杉山青隅治讓　小西豆協年守淳好　神丘開重栄礼絹久植順園ま　富富舞小宮竹多太石織児飯伊大尾白松太（赤）　石石石今石栗水今高今光南種金今謙境
三上寿美果店会会園子会徳部子子子子子子えエ雄夫作ナ部子会直子子浩エ雄男俊恵合園部校校所エ哉
三上輝彦　三上寿美果　杉山青隅治讓　小西豆協年守淳好　神丘開重栄礼絹久植順園ま　富富舞小宮竹多太石織児飯伊大尾白松太（赤）　石石石今石栗水今高今光南種金今謙境
三上輝彦　三上寿美果　杉山青隅治讓　小西豆協年守淳好　神丘開重栄礼絹久植順園ま　富富舞小宮竹多太石織児飯伊大尾白松太（赤）　石石石今石栗水今高今光南種金今謙境
三上輝彦　三上寿美果　杉山青隅治讓　小西豆協年守淳好　神丘開重栄礼絹久植順園ま　富富舞小宮竹多太石織児飯伊大尾白松太（赤）　石石石今石栗水今高今光南種金今謙境
三上輝彦　三上寿美果　杉山青隅治讓　小西豆協年守淳好　神丘開重栄礼絹久植順園ま　富富舞小宮竹多太石織児飯伊大尾白松太（赤）　石石石今石栗水今高今光南種金今謙境

検診を受けて明るい健康づくり

1月みんなの健康

（町民福祉課衛生係・国保係）

	項目	対象者	実施日	時間	対象地区	実施会場	備考
①	一般相談	全住民	13日(月) 20日(月) 27日(月)	10：00～15：00	全地区	老人福祉センター	保健指導、健康相談
②	乳児相談	生後6、9ヶ月児	9日(木)	受付時間 9：30～10：00	全地区	町民センター	保健指導、健康相談
③	1歳6ヶ月児健診	生後1歳7、8ヶ月児	9日(木)	受付時間 12：30～13：00	全地区	町民センター	尿検査、医師診察、歯科指導、保健指導
④	季節労働者検診	季節労働者の方	10日(金)	9：00～	全地区	町民センター	尿検査、血液検査、身体計測、血圧測定
⑤	妊婦相談	妊婦の方	14日(火)	受付時間 12：45～13：15	全地区	町民センター	尿検査、血液検査、助産婦指導、歯科指導
⑥	育児講座	生後3ヶ月児	16日(木)	受付時間 9：30～10：00	全地区	町民センター	保健指導、健康相談
⑦	乳児健診	生後4、7、10、12ヶ月児	16日(木)	受付時間 12：30～13：00	全地区	町民センター	身体計測、医師診察、歯科指導、栄養指導、保健指導
⑧	無医地区巡回診療	全住民	16日(木)	受付時間 14：30～15：00	全地区	町民センター	診療科目　眼科
⑨	3歳児健診	生後3歳2、3、4ヶ月児	23日(木)	受付時間 12：30～13：00	全地区	町民センター	身体計測、医師診察、歯科指導、栄養指導、保健指導
⑩	股脱健診	生後2ヶ月と25日以上の幼児	28日(火)	13：00～14：00	全地区	今金保健所	股関節X線撮影
⑪	季節労働者検診	季節労働者の方	30日(木)	9：00～	全地区	町民センター	尿検査、血液検査、身体測定、血圧測定
⑫	3種混合予防接種（第二期）	第1期終了後12～18ヶ月の幼児	21日(火) 22日(水) 24日(金)	受付時間 13：20～13：30 12：50～13：00 13：20～13：30	下地区 市街地 上地区	国保病院 町民センター 富田医院	

今金町奨学資金の貸付希望者へ

平成四年四月から修学される学生で、奨学資金を希望の方は、三月二十五日までに教育委員会まで申し込んで下さい。

○貸付対象者は

今金町に居住する者と子弟で次の条件を備えていること。

1、高校及び大学に進学を希望する者。
2、学資の支払うことが困難と認められた者。
3、身体健康、学業成績優秀、性行善良である者。

○貸付額

A、高校、専修学校高等課程、高等専門学校第三学年以下　一人月額　一万円
B、専修学校専門課程、高等専門学校第四学年以上　一人月額　一万五千円以内
C、短期大学　一人月額　一万八千円以内
D、大学　一人月額　二万円以内

○償還

卒業後六ヶ月すえ置き、十年以内の年賦償還です。

詳しくは教育委員会へお尋ね下さい。☎②―0111　内線320

1月分休日当番医

1日	平　病　院	(北桧山)	☎④5011
2日	北桧山町国保病院	(北桧山)	☎④5321
3日	今金町国保病院	(今　金)	☎②0221
5日	岩　間　医　院	(今　金)	☎②0057
12日	富　田　医　院	(今　金)	☎②0324
15日	楢　崎　病　院	(瀬　棚)	☎⑦3021
19日	今金町国保病院	(今　金)	☎②0221
26日	平　病　院	(北桧山)	☎④5011

※1日～3日まで午前中のみ

住民の動態

11月末現在

		前月対比
人　口	7,682人	(－3)
男	3,723人	(－4)
女	3,959人	(＋1)
世帯数	2,479世帯	(＋2)

おたんじょうおめでとう

山崎あかね(ちゃん)11月21日(隆宏(さん)長女)イマヌエル
佐竹　悠香(ゆうか)(ちゃん)11月22日(秀昭(さん)長女)日ノ出町
荒川　友惟(ゆい)(ちゃん)11月29日(英也(さん)長女)金原旭

いつまでもおしあわせに

11/19 田邊　潤二(さん)(商工団地)＝濱本　由美(さん)(函館市)
11/22 中嶋　一展(さん)(種川宮前)＝田中　礼子(さん)(北檜山町)
12/12 嶋　吉輝(さん)(中里)＝松江　朋子(さん)(秋田県)
12/15 大谷　和明(さん)(神丘高台)＝田畑　静香(さん)(緑町)

おくやみもうしあげます

山下みよね(さん)　11月21日　86歳　花　石



富山テレビ清流日本一の後志利別川を取材



この日は風が強く大変寒い日でしたが清流保護に対する住民運動を熱っぽく話す永井さん

九月の静岡テレビに続き、十一月二十六日、富山テレビが最もきれいな川として四年連続清流日本一の後志利別川を取材に訪れました。この清流をみんなで維持、守りましょう。

編集後記

▽あけましておめでとうございます。ことしも「広報いまかね」をよろしくお願いします。

▽陽気で人なつこいバーンサイド高校生二十名は、公式行事や地域とのふれ合いを通して、相互理解を深め合っていたようです。まさに、小さな町の大きな国際交流になったようです。

▽明治二十四年五月、当町の神丘へ開拓に入った丸山要次郎氏が敬愛する父へ、来地を願う手紙を原文のまま載せてみました。よく分からない方が多いと思います。何回か数を重ねて読んでいただくと、その意味が分かるかと思います。今から百年前に若干十七歳の少年が開拓を成功させ、他に数々の功績を残したことを忘れないでほしいと思い書いてみました。

なお、資料提供や古文書解読にご協力を頂きました。丸山さん楯哲了さんに感謝いたします。

発行／北海道今金町役場　tel②0111番
編集／企画調整課広報広聴係